

目 次

第1章 政治の基本的構造

第1節 現代政治学の形成11

政治学の伝統 政治学の科学化の模索 行動論革命 行動論革命への批判 脱行動論革命

第2節 社会における政治の機能20

社会とシステム論——パーソンズの場合 パーソンズの政治学批判
政策決定過程 抗争の発生と権力 人間の本性と抗争 権力に関する実体説と関係説

第3節 支配とリーダーシップ30

支配と服従 その他の服従根拠 リーダーシップ 支配をめぐる論争(1) 支配をめぐる論争(2)——CPS論争

第4節 政治システム論39

イーストンの政治システム論 イーストン・モデルの基本概念 イーストン・モデルの概要 イーストン・モデルの問題点 アーモンドの政治システム論 アーモンド・モデルの概要 アーモンド・モデルにおける政治システムの能力 アーモンド・モデルの問題点

第2章 政治社会の変容と理論

第1節 市民社会の生成と啓蒙思想52

中世からの解放 絶対主義の展開 絶対王政の亀裂 啓蒙思想の出現 ホッブズ ロック ルソー 市民革命の背景 フランス革命 民衆の蜂起 市民革命の限界

第2節 市民社会の成熟とその批判理論64

立憲主義 権力分立主義 功利主義 市民社会の成熟 市民社会の限界 批判理論 階級闘争

第3節 大衆社会とマス・デモクラシー73

大衆社会の登場 マス・デモクラシーの展開 大衆社会の理論的把握
大衆社会における政治的病理現象——官僚性の逆機能 政治的無関心
大衆操作

第4節 現代政治の理論的潮流87

ポリアーキー ブルーラリズムとコーポラティズム 新保守主義
リンケージ・ポリティックス

第3章 現代の政治過程

第1節 政治過程の構造95

政治過程とは何か 現代政治と政治過程論 ベントレーの『政治過程論』
政治過程と政治システム 政治過程と政治文化 政治過程の構成要素
現代の政治過程

第2節 選挙と投票行動105

選挙とデモクラシー 選挙の機能 選挙制度 多数代表制 少数代表制
比例代表制 投票行動 投票行動の規定要因

第3節 政党と政党制117

デモクラシーと政党 政党誕生の前提条件 政党の起源 政党の発展
政党の概念 政党の機能 政党制 一党制 支配政党制 一党優位政党制
二党制 穏健な多党制 分極的多党制 原子化 政党制 多党制の神話

第4節 圧力政治の展開134

現代政治と圧力団体 圧力団体の概念と機能 圧力団体の種類 圧力団体の評価
圧力活動の法的規制 ネオ・コーポラティズム 住民運動の発生
間接民主政と政治参加 政治参加 現代議会政治の状況
議会制民主主義の展望

第4章 日本の政治過程

第1節 戦後日本の政治社会151

民主的諸改革 政党の復活・再編 戦後初の総選挙 日本国憲法の制定過程
占領政策の転換と日本の進路 高度成長 高度成長による経済・社会の変化
高度成長の終焉

第2節 日本の選挙165

選挙の原則 選挙権 選挙方法 参議院比例代表制 55年体制 以後の総選挙
日本の選挙の問題点 議員定数不均衡問題

第3節 政治過程の諸アクター179

国会の組織 国会の種類・議事手続き 国会の権限 衆議院の解散 内閣
内閣総理大臣 戦後日本の政党 政党一各党の綱領と組織

自由民主党の組織 圧力団体 官僚制

第4節 日本の政治過程203

立法過程 政府提出法案 議員提出法案 国会の法案審議 予算決定過程
各省庁の概算要求 大蔵省審査 復活接衝 国会の予算審議
日本政治の留意点